



東京自立支援センター 理事長 挨拶

春たけなわの季節となりましたが、皆様、ますますお健やかに過ごしのことと存じます。当法人も設立より7年が経過し、日中活動サービスの6事業12拠点を展開するに至りました。これもひとえに皆様方のご協力のおかげと感謝しております。

また、今年度は新たな理事5名、新入職員5名を迎え、支援体制の充実と組織運営の基盤固めを図る年度となりました。新事業では発達障害に特化した就労移行支援事業所ポートビズがスタートし、A型事業所ともに一でも多摩工場を開設、選抜の利用者がそこで就労をしており、新たな可能性と技術の獲得、向上に繋がる訓練を行っております。

今後も職員一同、最良の支援指導を利用者の皆様方に提供し、安定した日中活動サービスの運営に邁進して参る所存であります。今後とも皆様方には何卒お力添えを頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

東京自立支援センター 4月入社正規職員

就労移行支援事業所
ポートビズ

職員 黒田 みずき さん
鷺見 実穂 さん(3月入社)

放課後等デイサービス
スマイルともに一

職員 篠原 萌花 さん

就労継続支援B型事業所
ともにードリーム

職員 兒玉 美也古 さん

就労継続支援A型事業所
ともに一

職員 伊藤 英治 さん

宴会



こんにやく
食べ放題



羊とふれあい



伊香保グリーン牧場



こんにやくパーク



平成30年3月18日～3月19日、1泊2日の研修旅行が無事終了しました。今回は総勢75名での参加となり、観光バス1台、ともに一バス1台を使った大人数での研修旅行でしたが、皆様のご協力により、スケジュール通り実施できました。旅行中、生き生きとした表情をたくさん見ることができたので、旅行担当としては大満足です！



編集後記

早咲きの桜に囲まれ、東京自立支援センターも新年度を迎えることができました。今年の開花は、平年より10日近く早い地域もあったそうで、寒かった冬が嘘のようです。

ともに一通信の表紙も利用者のUさんの意見を参考にし、年間予定を入れてみました！今後も利用者と共に歩いていけたらと思います。今年も東京自立支援センターを宜しくお願い致します。

ともしの一通信

事業所紹介

行事報告

理事長挨拶



入社職員紹介

お知らせ



写真：4月4日（水）お花見

年間行事予定

- 4月:お花見 歯科検診
- 6月:ボウリング大会
- 10月:ふれあいスポーツのつどい BBQ(バーベキュー)大会
- 12月:忘年会
- 1月:テーブルマナーセミナー
- 3月:研修旅行

上記以外に、対人マナーセミナーや夏祭り等の行事も予定しています。

※年間行事予定は変更になる場合があります。

特定非営利活動法人
 東京自立支援センター
 〒186-0012東京都国立市泉1-16-4
 TEL 042-576-9088 FAX 042-576-9144
 ホームページ <http://www.tokyo-tomony.org>
 Facebookページ QRコード





東京自立支援センター 事業所紹介

就労継続支援A型事業所 ともに一

サービス管理責任者 高森 千穂

ともに一では、就労経験のある方や、ステップアップともに一で社会経験を積んだ利用者が挨拶や身だしなみ、時間厳守、整理整頓といった社会人として必要なマナーが確実に定着出来るよう支援しています。作業においても習得すべきスキルを身につけ、品質や生産性の向上、安全性の確保にも取り組みます。

ステップアップともに一からともに一を希望する利用者も多いため、同一法人内の先輩・リーダーとして働くことで仕事への意識を高めていきます。就労移行、一般就労、もしくはともに一への定着に向けた取り組みをこころがけ支援を行なっています。

就労継続支援A型事業所 ステップアップともに一

サービス管理責任者 新 信二

当事業所は、特別支援学校を卒業した方や、外部からの入所希望者の受け入れを中心にしています。日々の作業に取り組む中で、社会人として必要な知識や経験の習得に励んでいます。職員一同、基本的な挨拶を通して明るい雰囲気大切に、利用者の方が楽しんで1日を過ごせるよう取り組んでいます。

その中で、「A型事業所で継続して働きたい。」「一般就労がしたい。」等の利用者本人の希望を聞き取り、継続して働く為の環境作りや実習等を提供し、本人のやる気や自信につながるような取り組みを積極的に行っています。

今年度から特別支援学校を卒業した3名の利用者が入所しました。総勢26名の利用者と共に、新たな発見や学びを大切に、今後も取り組んでいきたいと思っています。

今後とも、ステップアップともに一を宜しくお願い致します。



就労移行支援事業所 ポートビズ

サービス管理責任者 湯田 正樹

就労移行支援事業所とは、就職を希望する障害のある人が利用することのできる障害福祉サービスです。個別支援計画を作成し、原則2年間の利用期間内において職業準備訓練を実施し、働くための基本的な労働習慣や職場で必要とされるマナー、知識を習得して就職を目指します。

○事業所は矢川（旧ともに一ドリーム移行）と国立（4/2開所）の2箇所になります。国立事業所は新しい職員が入職して開所の準備に追われています。主な対象者は発達障害者です。○ポートビズの由来は、「ポート」とは Seaport（港）、Airport（空港）「ビズ」は、biz（仕事）の意味です。「ポート」は拠所の意味合いも持っています。就職に向かって訓練生が（目的地に向かって）船で航海する、あるいは航空機で飛び立つ場所が当事業所です。訓練生の特性にあった就職手段を選択して就労をめざす事業所です。個別支援を大事にして参ります。今後ともポートビズを宜しくお願い申し上げます。



就労継続支援B型事業所 ともに一ドリーム

サービス管理責任者 伊東 美紀

4月から利用者3名 職員1名が増えました。

B型ではいろいろな作業をすることで、職員の説明を聞いてから作業を始める、報告・連絡・相談、急な変更など、働くにあたり必要なことが身に付くよう支援を行っています。ご本人の特性に合った作業をしてもらうことで、働く楽しさや頼りにされているということを感じてもらえるよう心がけています。

新しい機械も入り、今後はTシャツなどの自主製品づくりにもチャレンジします。さらに、地域のイベントなどにも参加をし、ともに一ドリームを知ってってもらいたいと思っています。



共同生活援助事業所 ともに一ホーム

サービス管理責任者 渡邊 吉郎

グループホームは国立市泉5丁目の自然豊かな城山公園隣りに2棟建っていて、ホーム1は7名・ホーム2は4名定員、現在11名の男性利用者さんが生活しています。日中は皆さん仕事に出かけ、大半の方が週末は親の住む自宅で過ごす生活スタイルです。余暇は年間を通じて、皆で外出や外食を楽しんでいます。特に今年度は小グループでの一泊旅行行事の計画を予定しています。

利用者さんの平均年齢は22歳。両親ともまだ若く、家族皆が元気で、当面の生活に具体的な心配は特にありませんが、将来にわたって安定した生活の場の確保を生活スタイルの選択肢がある時期に共同生活を体験され、自立（自律）生活を送っています。

私たち世話人は、本人が趣味を楽しんだり、買い物に出かけたりするなど、より充実した暮らしが出来るよう、本人の生活が安定し、楽しく穏やかに過ごせる配慮ある環境でありたいと考えています。



スマイルともに一(放課後等デイサービス)

放課後等デイサービス(以下、スマイル)は、放課後や長期休業中に利用することが出来ます。

「スマイルに行くのが楽しい」という事業所を目指しています。その中で、友達と楽しく遊びながら「人とのかかわり方」「楽しく遊ぶ時のルールの理解」「日常生活の中の基本的な動作の習得」が出来たら良いなと思い、日々子供達に向き合っています。

今年度から、新たな職員も加わり、充実したサポート体制となっております。今後ともスマイルともに一を宜しくお願い致します。



サービス管理責任者 志村 謙

ともに一サポート(指定特定相談支援事業所)

平成30年4月施行の障害者総合支援法改正により創設される新サービスをご紹介します。

○自立生活援助

グループホーム等から一人暮らしへ移行した方に対し、一定期間(原則1年間、更新可)定期的な巡回や電話・メール等による随時の対応を行い、理解力や生活力を補う支援を行います。

○就労定着支援

就労支援を受けて一般就労した方へ、環境変化による生活面の課題(体調や金銭管理等)に対応したり、企業や関係機関等との連絡調整等を行います。

サービス管理責任者 渡邊 吉郎